



# CHERIA チエリア

2024. Autumn  
vol.

# 70



## 加藤 セチ かとう せち

1893年 山形県東田川郡押切村(現・三川町)生まれ。理学博士。  
 1894年 庄内大地震の発生により自宅が倒壊し火災が発生、母、兄、姉と死別。その後父は開墾・酪農事業に失敗、後妻を迎えた後に亡くなり一家は巨額の負債を負うこととなった。セチは家計を支えるために女学校を中退し、授業料不要の山形県女子師範学校(現 山形大学)に入学、卒業後は狩川尋常高等小学校に教師として勤める。  
 1914年 継母キンの強い勧めで東京女子高等師範学校(現 お茶の水女子大学)に入学、卒業後は北海道に渡り女学校に勤務したが自分の知識に物足りなさを感じ北海道帝国大学(北大)の選科生(現在の科目履修生)として入学。北大初めての女子学生となった。  
 1921年 結婚 翌年、理化学研究所(理研)初の女性研究者として入所、20日後に出産。  
 1931年 吸収スペクトル研究により理学博士号を取得、家庭を持つ女性として最初の理学博士となる。  
 1953年 感染治療薬として発見された抗生物質「ペニシリン」や結核の治療薬に用いられた抗生物質「ストレプトマイシン」の研究に力を注いだ功績が認められ理研初の女性主任研究員となる。  
 1968年 故郷の三川町名誉町民(第一号)となる。  
 1989年 永眠 享年95歳

表紙:山形県ゆかりの女性

61号から様々な分野で活躍された山形県ゆかりの女性たちを紹介しております。

写真提供: ①理化学研究所 朝日新聞社  
②三川町教育委員会  
③理化学研究所

## CONTENTS

2-3 特集 伊藤館長対談

4-5 チェリアより事業活動報告

6 ~チェリア相談室からのお知らせ~

7 チェリアの仲間になりませんか?

CHERIA登録団体紹介

8 全国女性会館協議会

第68回全国大会 in 山形2024 &  
チェリアフェスティバル山形2024



# 自由に対話ができるコミュニティが地域を変える

『誰もが自分らしく輝くために～女性が活躍できる社会へ～』

鶴岡ナリワイプロジェクト代表

井東 敬子

山形県男女共同参画センター  
チェリア館長

伊藤 眞知子

今年6月、2024年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受けた、鶴岡市の井東敬子さん。「ナリワイ起業講座」を通して、女性が自分の能力を發揮できる多様な働き方、地域の課題解決につながる小さな起業を支援しています。地域に根差し、多彩な活動を展開している井東さんに、伊藤館長が「誰もが自分らしく輝き、活躍できる社会づくり」について伺いました。

## 「好きで身近な困りごとを解決する 小さな起業「ナリワイ」づくり

**伊藤** このたびは2024年度男女共同参画社会づくり功労者の内閣総理大臣表彰、おめでとうございます。

**井東** とても驚きましたが、主宰している「ナリワイ起業講座」の卒業生たちが、いきいきと活動して地域を変える原動力になっている、それが評価されて皆さんと緒にいただいたと思っています。

**伊藤** 「ナリワイ起業講座」について紹介ください。

**井東** 「自分の好きなこと」で「身の回りの小さな困りごと」や「地域の小さな課題」を解決して、月3万円の収入を目指す小さなソーシャルビジネス「ナリワイ」づくりを支援しています。2015年に始めて、これまで100人近い受講生が卒業しました。起業講座といっても経営のノウハウを教えるようなものではなく、受講生同士が自分の得意なことや思っていることを話して、仲間と一緒に自分の棚卸しをします。そして、お互いに意見を言うたりアドバイスをしたり対話を重ねながら、それぞれの「ナリワイ」をつくっていきます。受講生は女性がほとんどで、地元の人、リターンした人、1ターンの人がほぼ同じ割合ですね。

**伊藤** 今は多様な働き方が受け入れられるよう

になり、地域で活躍している卒業生の方も増えていますが、最初から手応えはあったのですか？

**井東** 起業講座を始めた10年前には、主婦のままたと遊びと言われたこともありましたが、講座では「意見の違いはいいこと」で、「人の話を否定しない」など対話のルールを設けているので、自分の言いたいことが自由に言える場になっています。それで、まず受講生自身の意識が「自分の意見を言うてもいいんだ」と大きく変わりました。そうした自分らしくいられる「コミュニティ」の中で、自然と自分の能力が發揮できるようになって、さまざま「ナリワイ」が生まれていったのです。

**伊藤** 地域「コミュニティ」では、女性はなかなか自分の考えを言にくいことがあります。でも、起業講座では多様な人たちが集まって、いろいろな意見が出るのが逆に力になっているわけですね。

**井東** お金を稼ぐことだけを目的としない「ナリワイ」はただのビジネスではなく、人と地域を変え元気にする力にと思っています。「好きなこと・得意なこと」で起業し、楽しく続けられて、「ありがとう」と人に喜ばれ感謝される。地域や社会の役に立っているという実感、自分の人生を自分で決めているという実感があって、自己有用感や自己肯定感も高まります。そうすると周りの小さな社会課題にも自然に目が向くようになって、その課題を何とかして解決しようとする主体的に地域や

社会と関わり、行動するようになっていきます。世の中は、すぐに大きくは変わりませんが、こうした小さな変化から地域が変わっていくのだと思っています。

## 自分の意見を言える

### 働きやすい環境が

### 地域に若者が定着する鍵に

**伊藤** 地域にとつては、若者の定着も大きな課題になっていきます。「ナリワイ」づくりの視点から、何か解決につながるような提案はありますか？

**井東** 若い人が地元で定着するには、やはり自分の能力や個性を発揮して、のびのびと働ける環境づくりが大切だと思います。起業講座では受講生同士の対話を大事にしていますが、対話は組織や企業にとつても重要です。今の若い世代の人は、子どもの頃から対話型のコミュニケーションを身につけています。一方で、組織や企業ではどうしてもトップダウンの情報伝達になってしまい、これでは基本

的なコミュニケーションが成り立ちません。これまでの組織や企業の土壌、考え方を、今の時代にあったフラットな対話型に変えていく必要があるのではないのでしょうか。

**伊藤** 大人が意識を変えて、若者が自由に話せる環境をつくり、意見を聞くという姿勢が大事なですね。

**井東** 例えば新商品の開発というテーマがあったとして、経営者も社員も「私はこう思います」と、主語を「私」にして話す。そうすれば自然と若い社員も意見を言えるようになってきます。対話がなければ、いいアイデアもインベションも生まれにくい、若い人にとつて働きたい職場とはいえないですね。起業講座の卒業生のお子さんたちは、親が地域で楽しそうに働いている姿を見ているので、大人になっても地元に残ったり、一度故郷を離れても、また戻ってくるのではないかと思っています。ですから、地元で働きたいと考える若者が多くなるには、地域でも職場でも自分の考えや意見を自由に言える土壌づくりが大事なことだと思います。

**伊藤** 女性も若い世代の人たちも、誰もが自分らしく活躍できる社会をつくるということが、やはり若者の地元への定着や地域づくりにつながっていくのですね。

## 災害支援や防災に生きる

### 「価値縁」でつながるネットワーク

**伊藤** この夏、山形県では庄内や最上を中心に豪雨災害に見舞われ大きな被害を受けました。井東さんは、酒田市大沢地区の支援活動をされています。



すね。  
**井東** 起業塾の卒業生が大沢地区に住んでいて、被害の状況を動画で見ると大変なことになっていると知りました。それで、SNSで「友達限定」の範囲で、大沢地区に支援物資を届けるための支援金に協力してほしいと呼びかけました。義援金を集めるという方法もありますが、被災した現地のニーズは時間の経過とともに変わっていくので、その時に必要な物資を届けるために自由になるお金を集めようと考えたのです。支援金の使い道は任せていただくことにしました。

**伊藤** 今までにない支援のやり方ですね。  
**井東** 募金の方法は、ナリワイチームの仲間と相談して、申し込みフォームに入力していただいた方に振込先の口座を伝えるようにしました。偽サイトの詐欺リスクを減らすためです。拡散してくださるときにも、シェアではなくダイレクトメールでのやりとりをお願いしました。非公式のあくまで個人的な支援活動ですが、10日間で全国から70名を超える方が協力してくださって、まず高圧洗浄機などの物資を届けることができました。

**伊藤** 現状に合わせて、小さい規模で限定して、多様なニーズにタイムリーに対応するというのは、ネットワークがあるからこそできるのだと思います。

**井東** 鶴岡市の友人宅が大雨で床上浸水し、個人力では片付けが難しい状態だったので、こちらでも「知り合い限定」でボランティアを呼びかけ、協力していただきました。地域に仲間がいるから、いざ

という時に力を合わせてすぐ行動できる、口頭からのつながり、ネットワークが本当に大事だと痛感しました。

**伊藤** 災害支援の新しいモデルになりそうです。  
**井東** このような災害支援の手法は、組織をつくりリーダーを決めてやるのではなく、「やりたい」と思った人が自分で仲間を集めて一緒にやる「アメンバー方式」と自分で名付けて呼んでいます。そう、よくこの災害支援のノウハウを使わせてほしい」と連絡をくれた方がいて、もちろんすぐにOKしました。ネットワークを活用できる手法なので、全国に広がるのではないかと思います。地縁だけでなく、同じ価値観を共有する、価値縁や、共通言語でつながる「コミュニティ」が、こうした災害支援や防災にも活きると感じます。今回の支援活動も、自分一人で行うのではなく、協力してくれるナリワイチームの仲間が緒だからできたことです。

**伊藤** 最近は大雨や洪水、土砂災害、地震など自然災害が多く、誰にとつても他人事ではありません。日頃からのネットワークづくりは地域の課題を解決する力になり、いざ災害が起きたときの大切な備えでもあると、あらためて実感しました。ご自身の実践を通じた貴重な体験をお聞かせいただき、ありがとうございます。



## 報告 チェリア塾実践コース in 置賜

「チェリア塾実践コース」は、前年度のチェリア塾基本コース修了生を対象に、受講生自らが自主企画事業を実践することで、事業を進める自信とネットワークを深めるための講座です。

今年度は、置賜地域での修了生8名が「おもうところがある」「置賜女性の暮らしを考える会」の2グループを結成し、講師の(一社)とちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬隆人先生の指導のもと、自主企画事業「はて?置賜の『暮らし・生き方・地域づくり』を問い直す」を企画・運営しました。



### 自主企画事業「はて?置賜の『暮らし・生き方・地域づくり』を問い直す」



今回は地元のゲストを招聘し、講義を聴くという形式ではなく、受講生自身がゲストにインタビューをしながら、聞きたいこと・学びたいことを主体的に学ぶという方法で自主企画講座を開催しました。

6月は2部構成で、1部では、ゲスト講師に(株)武蔵屋 専務 柘植純子さんを迎え、担当の受講生が自身のエピソードを交えながら終活や片付けに関するインタビューを行いました。2部では、置賜消費生活センターの職員を迎え、消費に関するよくあるトラブル・未然に防ぐ方法・被害にあった場合の対応等について質問しました。



7月は山形市役所職員の後藤好邦さん、米沢市役所の相田隆行さんを招聘し、「男女共同参画の人材育成～なぜ女性管理職の割合が目目されるのか～」をテーマにインタビューを行いました。講座に参加された方からは「インタビュアーも講師もあまり気どらずに率直に考えを話してくれていたのが、とても良かった。身近に感じました。」「リーダーや管理職を決める際、男女の差を理由に決めてはいなかったが、これまでずっと男性が職に就いていた為、男性がならないといけない文化ができてしまっていたと参加して改めて気がついた。」との声が寄せられました。

## やまがた緑塾報告

開催日 令和6年8月3日(土)  
講師 山形大学ダイバーシティ推進室副室長 柿崎悦子氏  
タイトル 学校のダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン  
～ジェンダー平等の視点で～

「やまがた緑塾」は、様々な角度からジェンダーや男女共同参画の「今」を知り、社会課題を解決する糸口を探っていく講座です。今年度第1回目は、会場+オンライン受講合わせて約30名が学びました。

長きに亘り高校教育の場で実践を積まれた講師の豊富な資料を基に、統計調査からみた山形県、社会の変化と教育、多様な背景を持つ生徒、これからの教育と教育提言、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを考える上で教育界の3つの視点とは、学校の中での多様な性とは等々、縁遠いようで実はとても身近な実情と課題を知ることができました。また、2023年にはLGBT理解増進法が成立し施行されました。

講座終盤に講師より「ご自身は何をなさいますか」と問いかけを頂いたことで、日頃の自分の言動とどのようなバイアスがあるのかを振り返ることから始めようと思いました。

講義終了後の質疑応答では沢山の質問や多様な意見が挙がりました。今回の講座では一人ひとりが若者の地元定着を考える学び多き時間となりました。



令和6年度

# 「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」

多年に渡り男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた方などを内閣総理大臣が表彰している賞です。



## 井東 敬子 氏 (鶴岡市)

好きなことで地域課題を解決する小さな起業「ナリワイ」を目指す「鶴岡ナリワイプロジェクト」を設立。講座を通して、「ナリワイ起業」という“新しい働き方”を提案し、多くの女性に多様な働き方で自分の能力を発揮するきっかけをもたらし、女性の社会参画を促進している。

### 受賞のことは

受賞は、主宰する「ナリワイ起業講座」卒業生の活躍があってこそです。仲間や応援して下さる皆様と喜びを分かちあえることが、うれしいです。活動で大切にしていることは、「仕事は一つじゃなくていい」「わくわくを大事に」…。9年前は「常識ハズレ」と言われましたが、今回の件で、常識が変わりつつあると感じます。これからも自分の常識を疑い、楽しく、ゆるく、仲間と一緒に、ほしい未来をつくっていきます。



## 山形県男女共同参画推進員

# 出前講座開催報告

大雨被害で様々な催事中止の連絡がある中、出前講座「一緒に話そう 男女共同参画のあれこれ」は開催されました。被害状況を確認め合いながら最上各地域から9名が参加しました。

「男女共同参画 基本のキ」(矢作めぐみ推進員)の講話では、NHK朝ドラ「虎に翼」の「寅ちゃんのはて？」を例に、おかしいことをおかしいと言う大切さを改めて考えさせ、参加者は引き込まれていました。推進員研修会で習得した男女共同参画の基本等が分かりやすく解説されました。グループで話そう「アンコンシャス・バイアスって知ってる？」(沼野慈推進員)では、性別による固定的役割分担意識の解消に向けた啓発媒体(山形県)の中から2種類を活用しました。

参加者アンケートでは、大いなる刺激を得、自分事として今後の行動変容に期待が持てる講座になったようです。



山形県男女共同参画推進員出前講座

参加無料

一緒に話そう / 男女共同参画のあれこれ

家庭のこと 地域のこころ アンコンシャス・バイアスって何?

2024年8/3(土) 10:00 ~ 12:00 (受付 9:30 ~)

会場 雪の里情報館雪国文化ホール (新庄市石川町4-15)

内容

- 1 講話「男女共同参画 基本のキ」
- 2 グループで話そう「アンコンシャス・バイアスって知ってる？」

講師 山形県男女共同参画推進員 沼野 慈 氏・矢作 めぐみ 氏

申込み 7月30日(水)までに申込みフォームからお申込みください。 ※申込みとキャンセルは事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ TEL:090-9032-2551 (事務局 沼野) ※不在の場合は、折り返しご連絡いたします。 一般の方はこちらからお問い合わせください。

主催：地域づくり応援団キラッとO~RA☆DA

主催／地域づくり応援団キラッとO~RA☆DA

開催日／令和6年8月3日(土)

会場／雪の里情報館(新庄市)

タイトル／一緒に話そう 男女共同参画のあれこれ

講師／山形県男女共同参画推進員 沼野慈 氏・矢作めぐみ 氏

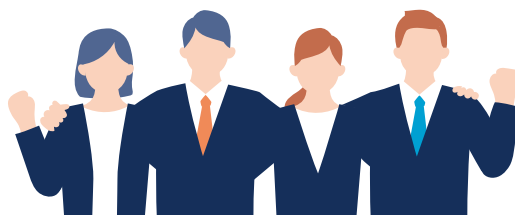
# チェリア相談室からのお知らせ

## 初任者研修会報告

開催日 / 令和6年5月30日(木)

講師 / 山形県公認心理師・臨床心理士協会 会長 伊藤洋子 氏

タイトル / 相談対応の基礎と支援について



チェリアでは毎年県内相談機関の相談業務担当者の資質向上を図るため年2回相談会を実施しています。1回目は相談業務の経験年数が少ない方を対象に5月30日(木)に開催、40名の方に参加いただきました。今回は4人1組でのロールプレイ体験によるグループワークを行いました。傾聴と共感の練習を行うことにより相談者の立場になって気付くことが多々あり、参加者にとってとても貴重な体験となりました。また他の相談機関との方々との交流も図ることができ有意義な研修会となりました。今回の研修内容を今後の相談業務に活かしながら支援に繋げてほしいと思います。



## 男女共同参画週間

～だれもがどれも選べる社会に～



男女平等を推進するために、1999年6月23日に男女共同参画社会基本法という法律が施行され、今年で25年を迎えます。これを機に、毎年6月23日から29日の1週間を男女共同参画週間として、全国で様々な取り組みを行い、普及啓発に努めています。

期間中、チェリアでは、男女共同参画について理解を深めていただくため、ラジオキャンペーンとパネル展示を行いました。

### ラジオキャンペーン YBCラジオ・ラジオモンスター

YBCではラジオ番組「グッとモーニン!!」に伊藤館長が出演し、今年度のキャッチフレーズを紹介しました。また、ラジオモンスターでは期間中にチェリア職員が番組に出演し、男女共同参画週間のPRやCMを放送しました。



### パネル展示(遊学館)

パネル展示には多くの方から来場いただきました。また、県立図書館と連携して本の展示を行いました。



# CHERIA登録団体紹介

## 認定NPO法人 IVY 山形生まれの国際協力NGO

IVYは、山形という地方を拠点として世界の問題にかかわろうと、1991年の発足以来、国内外で活動を続けています。海外では、カンボジア、フィリピン、東ティモール等から現在はウクライナ、バングラデシュなどに国・地域を移して、若者の教育や医療、農業による収入向上等その地域が必要とする支援を行っています。一方、国内では、多言語相談や通訳・翻訳サービス等で在住外国人の支援をしたり、国際理解の出前講座を行ったりしています。山形を中心とする東北の国際化への視座と海外事業の展開が、IVYの活動の両輪です。

山形は、全国に先駆けて自治体が国際結婚に取り組んだ県です。「農村花嫁」という言葉が一時その代名詞として用いられたように、国際結婚は農業と地域の生き残りをかけた試みでした。その後、農村に限らず、国際結婚は県内全域に広がりましたが、結婚を機に山形に移住してきた女性たちの話を聞くうちに、彼女たちが結婚当初から今に至るまで直面し、悩み続けてきたのは、ジェンダーの問題であることに気づきました。地域の存続には、どれだけ多くの方が自分の問題としてジェンダー平等に向き合えるかにかかっているのかもしれない。

IVYは、県医師会及び県弁護士会のご協力のもと、毎年、医療・法律分野の通訳養成講座(県国際交流協会と共催)を実施しています。関心のあるすべての方に開かれた会です。地域の外国出身の方々と一緒に勉強しませんか。



【お問い合わせ】  
〒990-2432 山形市荒橋町1丁目17-40  
電話 023-634-9830  
mail link@ivyjapan.org  
<https://ivyivy.org/index.html>

## Information ~チェリアからのお知らせ~

### 令和6年度 やまがた女性 キャリアアップセミナー

キャリア開発の基本を学び、参加者主体の研修です。  
様々なワークを行いながら自身のキャリアを考えます。

日時:10月10日(木)9時半~16時 庄内会場  
11月14日(木)9時半~16時 山形会場  
会場:庄内 三川町公民館(農村環境改善センター)  
山形 遊学館

講師:ヒューマン・アプローチ研究会 代表幹事 安達 隆司  
(国家資格キャリアコンサルタント・産業カウンセラー)

対象:県内で働く若手~中堅女性  
※詳細はチェリアホームページまたはチラシをご覧ください。



### DVはなぜ起こるのか ~社会問題として見るDV~

日時:12月6日(金)  
時間:13:30~15:30  
講師:永田 悠芽 氏  
(上町カウンセリングオフィス)  
会場:遊学館 学習室  
対象:県民の方25名  
(定員になり次第締め切り)

・無料託児あります  
・お申込み・お問い合わせはチェリアまで

どなたでもお気軽にご参加ください

参加費  
無料

認め合い支え合い ともに歩もう多様性社会

# 全国女性会館協議会 第68回全国大会in山形2024 & チェリアフェスティバル山形2024

2024年 11月9日(土)・10日(日)

## 内容

- 全国大会  
基調講演・パネルディスカッション 11月9日(土)  
分科会 11月10日(日)
- ワークショップ 11月10日(日)
- 展示発表 11月9日(土)～16日(土)
- 県民交流コーナー 11月9日(土)

## 基調講演



### 地域経済と女性 ～若年女性の人口流出をどう止めるか

講師 林 伴子氏 内閣府 政策統括官(経済財政分析担当)

東京大学卒業後、旧経済企画庁入庁。経済学修士。パリのOECDで経済政策審査を担当後、内閣府海外経済担当参事官(課長)、経済対策・金融担当参事官、政策立案総括審議官、OECD経済政策委員会副議長等を務めた後、2020年から内閣府男女共同参画局長として「第5次男女共同参画基本計画」、男女間賃金格差開示義務化を定めた「女性版骨太の方針2022」等を策定。現在は、官庁エコノミストのトップ(局長)として経済財政白書や月例経済報告、地域経済の分析等を統括。2010年から東京大学大学院非常勤講師(経済政策)も兼務。



### パネリスト 能條 桃子氏

1998年生まれ。慶應義塾大学院経済学研究科修士卒。2019年、若者の投票率が80%を超えるデンマークに留学し、若い世代の政治参加を促進するNO YOUTH NO JAPANを設立。Instagramで選挙や政治、社会の発信活動(現在フォロワー約10万人)をはじめ、若者が声を届けその声が響く社会を目指して、アドボカシー活動、自治体・企業・シンクタンクとの協働などを展開中。

### 【日時】

11月9日(土) 13:30～17:05(13:00受付開始)

### 【オープニングセレモニー】

「山形大学花笠サークル四面楚歌」による花笠踊り

### 【会場】

遊学館ホール

【定員】 遊学館ホール 300名/オンライン配信 150名

【無料託児所】 無料託児室を設置します。満1歳～就学前のお子さん。11月9日(土)12時30分～17時15分まで ※事前申込が必要です。

## 編集後記

- ▶この度広報委員を拝命し、活字と触れ合う機会を得てワクワクしています。いくつになっても知る、学ぶは心の栄養になると実感しました。皆様に「へえ〜!」と「なるほど!」をお届けできるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。(T)
- ▶巻頭対談の中で災害支援と防災について井東さんよりお話を拝聴しました。今後、女性視点での防災が必要不可欠であり、災害対応力を強化し地域の防災向上に繋げる為にはわたしたちひとりひとりの意識を変えていくことが大切なんだな...と認識させられました。(S)
- ▶「天災は忘れたころにやってくる」近年は忘れる間もなく日本のどこかで災害が起きているような気がします。「備えあれば憂いなし」防災についての意識を高めていくことが大切ですね。(E)



### 山形県男女共同参画センター チェリア

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 遊学館2階  
TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752  
相談専用電話 023-629-8007  
HP <https://yamagata-cheria.org/>  
利用時間 午前9時～午後9時  
※夜間利用の申し込みがない場合は午後8時まで  
休館日 第1・3・5月曜日、第3日曜日、年末年始  
令和6年9月発行  
編集発行 (公財) 山形県生涯学習文化財団



### 【アクセス】

- JR山形駅から  
バス/市役所経由路線バスで  
市役所前下車、徒歩5分  
タクシー/約10分 徒歩/約25分
- 自動車  
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。  
県営駐車場、遊学館駐車場をご利用下さい。  
入退館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出し下さい。  
ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。

チェリア  
HPは  
こちらから!

